

大阪・船場、
くすりの町の落語会

道修町 たなみん寄席

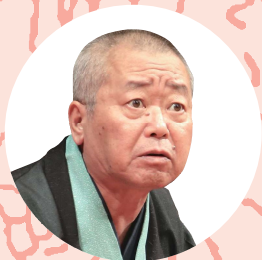
落語ってどうやって
できるんだろう？



落語

第4回「^{はなし}噺のプロファイル」

落語のネタはどのように生まれるのでしょうか？
聴いているだけではわからない、落語のルーツの意外な深みについて考えてみます。



笑福亭福笑
「代書屋」



笑福亭喬若
「野ざらし」



桂白鹿
「転失気」

講演



高島幸次
(大阪大学招聘教授・
大阪天満宮文化研究所)
「上方落語の
なりたちを探る」

11/23 (祝・金)

5:30PM～

入場料 1,000円 (資料代込み)

定員 200名 (要申込・先着順)



大阪・船場、くすりの町の落語会

どししょうまち 道修町たなみん寄席

「たなみん」って？

ふわふわで真っ白な毛に覆われた、大きな青い手を持つ妖精。その手でどんな相手でもぎゅっと受け止め、包み込む。

ハグされたものはその心地よさにひとたび眠りにつき、起きたときには病が治っている、こともあるとか。田辺三菱製薬のキャラクターとして活躍中！

落語はどうやってできた？ 歴史的イベント・個人の体験・ 世相や風土… 実はなりたちはいろいろ。

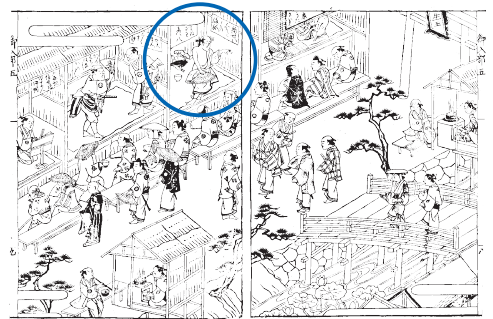
落語のネタが生まれるきっかけには、さまざまなパターンがあります。たとえば、実際に起こった歴史的な事実を踏まえたものもあれば、落語家たちの個人的な体験を手がかりに生まれたもの、当時流行していた他の芸能に影響を受けたもの、あるいは世相や風土の変化を踏まえたネタもあります。一つ一つの噺に独自のなりたちがあるのです。

今回はそれぞれの落語ネタが生まれた時代背景を掘り起こすことによって、聴いているだけではわからない、落語の意外な深みについて考えてみます。

◎資料(背景写真)について

湯漬翫水「御入部伽羅女」 宝永7年(1710)より
(大阪府立中之島図書館蔵)

大阪の落語の祖とされている米沢彦八は、もともと生國魂神社の境内で芸を披露していました。江戸時代の中頃を描いたこの資料には、「よねざわ彦八」の張り紙とともに、「当せいしかたものまね」と書かれています(画面中央上)。「当世仕方物真似」とは「今どきの形態模写」という意味です。米沢彦八は得意の大名たちの物まね芸で大勢の聴衆を笑わせました。そのスタイルが大阪における落語の起源だと言われています。



第4回「噺のプロフィール」

笑福亭福笑「代書屋」 笑福亭喬若「野ざらし」ほか 高島幸次(講演)「上方落語のなりたちを探る」

日時 2018年11月23日(祝・金) 5:30PM~7:30PM頃(受付開始4:45PM~)

会場 田辺三菱製薬株式会社

入場料 1,000円(資料代込み) 定員 200名(要申込・先着順) ※定員に達し次第締め切ります。

ハガキ、FAX、もしくはインターネットの申し込みフォームからお申し込みください。

ハガキ、FAXでお申し込みの方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数(応募1通につき4名まで)を明記の上、下記までお送りください。

なお、複数名でご参加希望の場合は、代表者の方の必要事項を明記してください。

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「道修町たなみん寄席」受付係 FAX.06-6484-9678

<https://www.tanamin-yose.net>

◎ご参加までの流れ

①お申し込み

10月1日(月)10:00AMより
インターネット、ハガキ、
FAXで受け付けています。

②受講票発送

11月1日前後から
発送を開始します。

③当日お支払い

当日、会場でお支払いを
お支払いください。

お申し込み先着順に整理番号を発行し、当日はその番号順にご入場いただけます。
整理番号は受講票に記載していますので、必ずご持参ください。

※受付開始時間より前にお越しただいても、早く入場できるわけではありません。

お問い合わせ ☎06-6484-9677

(道修町たなみん寄席事務局・株式会社140B内)

主催/田辺三菱製薬株式会社 企画・運営/株式会社140B



道修町の歴史がよくわかる
田辺三菱製薬史料館を
見学いただけます。

